



東京保健医療専門職大学(仮称) 陶山哲夫学長予定者 アジアパラリンピック委員会 アジア特別賞 受賞祝賀会が 開催されました

2019年7月19日(金)、東京保健医療専門職大学(仮称)の陶山哲夫学長予定者の「アジアパラリンピック委員会(APC)アジア特別賞受賞」を記念した祝賀会が、ホテル東京ガーデンパレスで開催されました。

アジア特別賞は「自らの行動を通じて APC の理想を体現した者、障がい者スポーツ界に顕著な功績を残した者、または APC の利益のために長期に渡り貢献した者」に授与される賞で、陶山学長予定者の永年にわたるアジアパラリンピックに対する貢献が評価されての受賞です。



陶山学長予定者の記念講演

【陶山学長予定者の障がい者スポーツに関する主な活動】

1986年	日本身体障害者スポーツ協会 医学委員
2002年	日本障がい者スポーツ協会 医学委員長(現職)
2004～2019年	アジアパラリンピック委員会 医科学委員長
2010～2012年	国際パラリンピック委員会 アンチドーピング委員
2017年	秩父宮記念スポーツ医・科学賞 功労賞 受賞



日本パラリンピック委員会
委員長補佐 中森邦男様

祝賀会に約60人の方々にご列席頂き、学校法人敬心学園 小林光俊理事長、日本リハビリテーション専門学校 二瓶隆一校長の挨拶に続き、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会 委員長補佐の中森邦男様よりご祝辞を頂きました。中森様は過去のパラリンピックにおけるエピソードを交え、障がい者スポーツにおける医学関係者の重要性、そして陶山学長予定者がメディカルの責任者として直面した重要な意思決定の場面について臨場感溢れるお話しをして下さいました。

日本リハビリテーション専門学校 工藤征四郎副校長による乾杯の発声、そして歓談の後、陶山学長予定者より「アジアパラリンピック大賞 受賞にあ



たり」と題した記念講演が行われました。世界・アジア・日本における障がい者スポーツの発展の歴史、義肢・装具と競技力向上の科学的研究、関連する学会活動、東京パラリンピック後の日本のレガシー等についてのプレゼンテーションが行われました。

1年後に開催される東京パラリンピックにおいても、陶山学長予定者は日本障がい者スポーツ協会の医学委員長として大会を支えることとなります。本学も、競技会場の多くが位置する「江東区」に誕生する大学として、大会の成功に積極的に貢献して参ります。



学校法人敬心学園
小林光俊理事長



日本リハビリテーション専門学校
二瓶隆一校長



日本リハビリテーション専門学校
工藤征四郎副校長



アジア大賞の表彰状とメダル
(右は、敬心学園 大学開設準備室 宮田雅之事務局長)